社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和07年03月24日

計画の名称	泉ヶ丘駅前周辺地区の活性化と健幸まちづくり（その２）		
計画の期間	令和０５年度　～　令和０６年度　(2年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	堺市		
計画の目標	泉ヶ丘駅前周辺地区では、民間事業者による駅前機能の拡充や強化の計画が進められているとともに、令和7年11月には近畿大学医学部・附属病院の開設が予定されている。これらの動きと連携を図りながら、施設間を連絡する経路のバリアフリー化、健康づくりに寄与する公園の再整備、既存ストックを活用した団地のリノベーションなどを通して、本地区の利便性向上と健康長寿、若年世代の誘引を目指したまちづくりを進める。 ●本地区の利便性を向上させ交流人口の拡大を図る。 ●健康まちづくりへの取組を通じ、地域住民の健康増進を図る。 ●住宅ストックの有効活用を図り、若年世代の誘引を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	808	A	808	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 R5	中間目標値	最終目標値 R7
1	泉ヶ丘駅の乗降客数			
	泉ヶ丘駅周辺地区の機能を向上させることにより交流人口を拡大させ、乗降客数の減少に歯止めをかける。 泉ヶ丘駅の1年間における乗降客数	1490万人/年	万人/年	1490万人/年
2	三原公園等の利用者数			
	人口減少・高齢化の傾向にある中、健康づくりに寄与する公園の再整備を行うことにより公園利用（通行）者の現状維持を図る。 三原公園等における1日の利用（通行）者数	1635人/日	人/日	1635人/日
3	南区における運動習慣者の割合			
	健康づくりをテーマに再整備する公園等をフィールドに近畿大学等と連携したイベント等を通じ、運動習慣者の割合を増加させ、地域住民の健康増進に繋げる。 南区における1回30分以上の運動を週2回以上行う者の割合	29%	%	46%
4	大阪府住宅供給公社茶山台団地の若年世代の新規入居率			
	リノベーション事業等により若年世代の誘引を図り、若年世代の入居率を増加させる。 大阪府住宅供給公社茶山台団地の新規入居世帯主数に対する若年新規入居世帯主数（～40代まで）	67%	%	70%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
泉ヶ丘駅前周辺地区の活性化と健幸まちづくり（その１）と併せた6年間の計画												

案件番号：　0000688695

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	堺市	直接	堺市	―	―	泉ヶ丘駅前周辺地区都市再生整備計画事業	A＝約189.8ha	堺市	■	■				808	-	―
											小計						808		
											合計						808		

案件番号： 0000688695

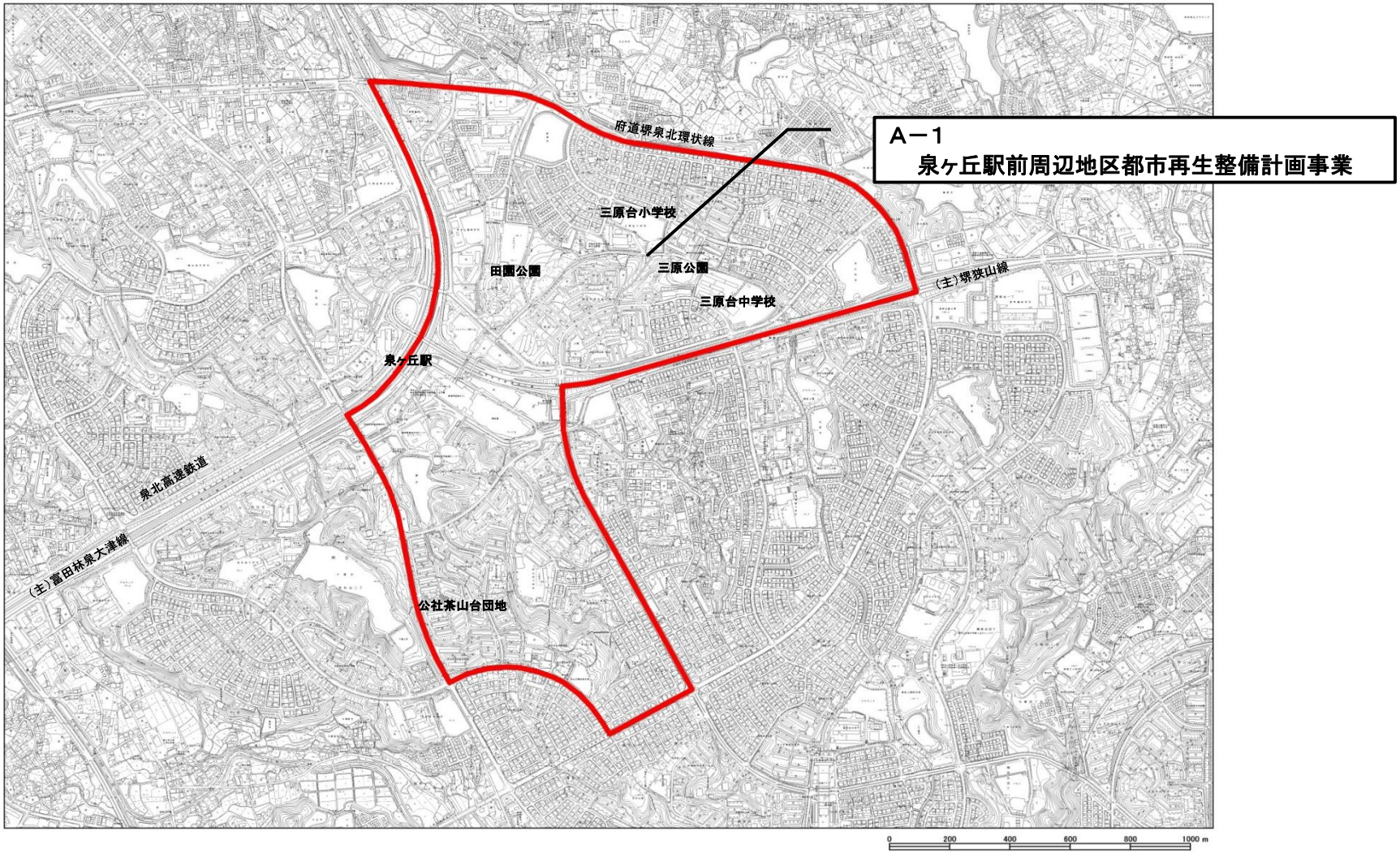
交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R05	R06			
配分額（a）	217	106			
計画別流用増△減額（b）	0	0			
交付額（c=a+b）	217	106			
前年度からの繰越額（d）	27	48			
支払済額（e）	196	154			
翌年度繰越額（f）	48	0			
うち未契約繰越額(g)	37	0			
不用額（h = c+d-e-f）	0	0			
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	15.16	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算が令和6年3月22日に交付決定し、未契約繰越で対応したため。				

（参考図面）

計画の名称	泉ヶ丘駅前周辺地区の活性化と健幸まちづくり		
計画の期間	令和元年度　～　令和6年度　（6年間）	交付対象	堺市



事前評価チェックシート

計画の名称： 泉ヶ丘駅前周辺地区の活性化と健幸まちづくり（その２）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性　１）上位計画等と整合性が確保されている。　（上位計画名：堺市都市計画マスタープラン、SENBOKU New Design、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョン、泉ヶ丘駅前地域活性化アクションプラン　等）	○
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）　１）本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）　２）本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。	○
II.　計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と定量的指標の整合性　１）計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性　１）定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性　２）定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性　１）計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性　１）十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性　２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III.　計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境（事業塾度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III.　計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境（事業塾度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）　２）計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
III.　計画の実現可能性	
⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）　１）住民等から事業実施についての要望がある。	○
III.　計画の実現可能性	
⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）　２）計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○

案件番号：0000688695